

知ってほしい、議会のこと

草津市

議会だより

令和6年5月1日
発行

No. 191

令和6年3月定例会号

本音トーク

輝☆業塾
卒塾生

×市議会

草津は本当にいいまちなの?!



前号でお願いして
いました議会だより
読者アンケートにご
協力いただきありが
とうございました。



New

- 座談会 みんなのひろば …………… 2～3
- 審議結果 …………… 4～8
- 21人が市政を問う代表質問・一般質問 …… 9～15
- 高校生との意見交換会 開催予定……………15
- 6月定例会の開催予定 ……………16

読者アンケートの結果を踏
まえて、より多くの方に議会だよ
りをご覧いただけるよう、皆様のご意
見を伺いながら紙面をリニューアルしてい
きます。

今号では、今年で10年目を迎える「輝☆業塾」を
卒塾され、かるたを通じて地域活性化に取り組み
ている方々にお話を伺いました！

聴いて伝える

みんなのひろば

輝



業塾

卒塾生

市議会



草津市のイメージってどうですか？

成長しているまち！

草津市の良いところは？

◆コンパクトにまとまりがあり、必要なものが揃っている。

◆ICT教育をはじめ、教育への注力は素晴らしい。

◆街中に自然いっぱい公園があり、また、街中と湖岸が近くて海外みたい。

◆市民みんなに活気がある。

議会だよりって読んだことありますか？

◆広報紙は投函され、読んでいるがそもそも議会だよりってどこでもらえますか？
↓広報紙と同じように、年4回、全戸配布しています・・・。

意見交換の際に、議会だよりを読んでもらいました

◆文字数が多いことから文字の間隔が狭く、広報紙としては読みにくい。
◆議会だよりを読んで、何がわかるのかという点がわかりにくい。
◆決まったことを載せるよりもこれから議論する内容を載せてほしい。



輝☆業塾(きぎょうじゅく)

草津市では「女性の活躍推進」の取り組みとして、起業や再就職など、新たな一歩を踏み出したい女性を応援するため、平成27年度より女性のチャレンジ応援塾「輝☆業塾」を市民団体「くさつ☆パルプロジェクトチーム」と協働で実施しています。

こどもと企業をつなぐ

「滋賀コレかるた」で 地域活性プロジェクト

滋賀コレかるたとは、滋賀県の名所や特産品、歴史、文化を感じさせる物事をかるたにしたものです。

このかるたで遊ぶことで、滋賀の子どもたちが自分の住んでいる滋賀について知り、滋賀を愛する心を育むことを願い、プロジェクトを計画されました。

子どもたちだけでなく、地域の大人も巻き込んで、「滋賀コレかるた」をきっかけに素敵な絆が生まれるのではないかという思いのもと、令和3年1月に立木神社でお披露目会をはじめ、現在も活動を続けておられます。



草津のかるたは何ですか？

◆草津のかるたは、「草津宿」と「つばがもち」です。

『草津宿』 たびすればくさつじゅくで「ようおいなあー」

『つばがもち』 かたちはおっぱい家康さんも食べたつばがもち

草津市や市議会に求めることは？

【草津市】

◆大津市や高島市、甲賀市では各学校に滋賀コレかるたを置いていただき、子どもたちに使ってもらっている。申請いただければ、無料で貸し出しもしているため、様々なイベントで使っていたきたい。

【市議会】

◆市民が参画できる議会であってほしい。
◆議会が、いつ・どこで開催されているかわからないため、もっと身近に感じれるよう、議会の広報活動などに努めてほしい。

今回、議員と意見交換をしてどうでしたか？

◆議員とお話する機会は初めてのごことで、議会に興味を持つきっかけとなりました。

◆次号の議会だよりの発行から読者になろうと思いました。

◆次号の議会だよりが楽しみです。

他にも、多様な視点から様々なご意見をいただきました。
議会だよりはじめ、今後の議会活動に生かしていきます。

審議された主な議案

3月定例会について

令和6年3月4日から3月28日まで3月定例会を開き、議案37件が市長から提出されました。なお、議員からは、一般議案1件、意見書案4件を提出しました。

今号では、3月定例会中の3月18日から26日までの各常任委員会に付託された予算案や条例案などを慎重に審査した中から、いくつかの質疑等を要約してお伝えします。

令和6年度当初予算案を可決！

一般会計
627億1,000万円

(対前年14.4%)

特別会計
349億2,450万円

(対前年2.1%)

合計
976億3,450万円

(対前年9.7%)

令和6年度当初予算は、第6次総合計画に掲げる、まちづくりの基本目標に基づくリーディング・プロジェクト（重点方針）を中心に、子育てや教育、福祉の充実に加え、都市基盤整備や防災対策など、厳しい財政環境の中でも財源を積極的に配分するとともに、本市が市制施行70周年を迎えることから、「ずっとずっとずっと住み続けたい健幸のまち草津」の実現に向けて、新たな次代（みらい）を切り拓く予算を編成されました。

一般会計と特別会計をあわせた予算総額は、976億3,450万円と過去最大の予算規模となりました。

議会では、予算常任委員会において、これらの予算案の審査を行いました。

市制施行70周年記念事業費

3,741万円

(事業の概要) 令和6年に市政施行70周年を迎えるにあたり、本市が目指すまちの将来ビジョン「ひと・まち・ときをつなぐ 絆をつむぐ ふるさと 健幸創造都市 草津」の実現に向け、特別事業17・関連事業17の計34の記念事業を展開。また、開業30周年を迎える、「JR南草津駅」・「立命館大学びわこくさつキャンパス」とも連携を図った事業に取り組む。



予算審査における質疑応答／意見〈予算常任委員会〉

議員 70周年記念事業としての経済的波及効果やシティーセールスはどうみているのか。

市 「JR南草津駅・立命館BKCの30周年」との連携により経済的な効果含めて機運が高まってくると考えている。

議員 事業ごとに目標値を立て、効果が検証できるようにするべき。

市 各事業の連携により1年トータルでの効果を目指す。また、結果も分析をしていけるようにする。

中学校給食無償化事業費

2億688万6千円

(事業の概要) 子育て世帯の経済的負担を軽減するため、市内の公立中学校に在籍している生徒の給食費を無償化する。また、中学校給食をアレルギーや不登校等で長期間喫食できない生徒の保護者に対して給食費相当分を給付する。



予算審査における質疑応答／意見〈予算常任委員会〉

議員 令和5年度は、異物混入問題が多々あった。小中学校ともに給食管理運営費が上がっているが、安全安心という視点で施設の改修等も管理運営費に含まれているのか。

市 施設の修繕については、管理運営費に含まれている。

議員 管理運営費に含まれているとのことだが、抜本的に変えるための費用が含まれているのか。

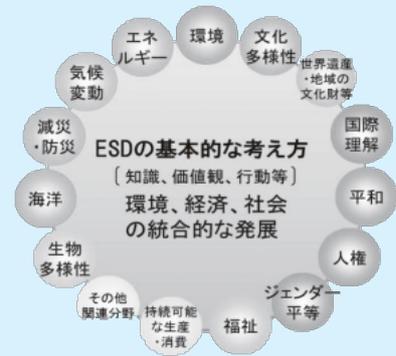
市 前年度と同様の費用でみている。

議員 令和6年度については、異物混入がないように、安全安心で給食が届けられるように願います。

スクールESDくさつ推進費

1,558万3千円

(事業の概要) 「持続可能な社会の創り手」を育む教育であるESDを推進していくことを目指して、令和4、5年度にモデル校3校で教育的効果の検証を進めてきた。令和6年度からは市内のすべての小中学校で学校と地域との連携を核にESDの視点に立った学習活動を展開する。



予算審査における質疑応答／意見《予算常任委員会》

議員 市内のすべての小中学校で実践することから、ESDアドバイザーを1名から3名に増やすとのことだが、どのような方を配置するのか。

市 ESDアドバイザーは、教員OBを3名配置する予定である。

議員 教員OBというのは、ESDの観点について詳しい方なのか。

市 ESDは総合的な学習を核として全教科において学習を進めるもので、ESDに特化した教員はいない。

議員 単に人数を増やすだけでなく、先進事例やESDに関して詳しい方を配置いただきたい。

東海道沿道無電柱化整備費

1億2,707万7千円

(事業の概要) 東海道草津宿本陣通りの歴史的な景観の形成を推進し、災害時における電柱倒壊の防止など安全性の向上を図るため、本陣周辺の約140mの区間の無電柱化事業を進めている。令和6年度は、電気・通信線を本体管路へ入線し、不要となる電柱等を抜柱する工事に併せて、照明灯工事および舗装本復旧工事を行う。



予算審査における質疑応答／意見《予算常任委員会》

議員 この事業に効果はどのように検証していくのか。

市 来年度に整備が完了することから、整備後の通行量調査や訪れる方々のアンケート結果等を踏まえて、効果を検証していく。

議員 災害時の安全性や快適性の観点から、他の道路でも無電柱化を進める考えはないか。

市 景観重点地区の指定を受けた約600mの範囲を事業計画区間としている。今後については、事業の効果検証結果を踏まえ、当該区間内での整備を検討する。

【議第26号】
令和5年度草津市一般会計補正予算
(第7号)

全員賛成

国の補正予算に伴う補正予算等

●議案概要

南草津駅東口のバス利用客の安全解決策としてバスシエルターを整備し、バス待ち環境の改善を図るため、第1期バスシエルター整備工事および第2期バスシエルター整備にかかる実施設計を行う。

●審査における質疑応答／意見

議員 バスシエルターによって創

出される空間を活用したにぎわ
いづくりについて伺う。

市 屋根の高さを考慮しキッチ

ンカーを入れるなどで、にぎわ
いの創出を考えている。

議員 多額の予算が計上されてい

るがどの程度の環境改善が見込
めるのか伺う。

市 現状では、早朝や大学生の

通学時に大変混雑し行列ができ
ている。特に雨の日は顕著で、
より混雑している。バスシエル

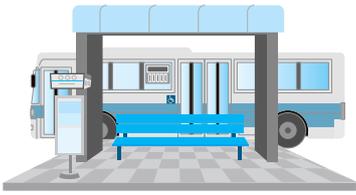
ターを造ることにより環境改善
に効果があると考えている。

議員 南草津駅前には特に関

心があるので安全対策を十分考慮した工
事をお願いしたい。

市 安全確保に努め工事の施工

を行っていききたい。



【議第19号】

草津市特定教育・保育施設および特定地域
型保育事業の運営に関する基準を定める条
例の一部を改正する条例案

全員賛成

保育等事業のデジタル化に伴う条例の改正

●議案概要

草津市特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案

●審査における質疑応答／意見

議員 改正内容の具体的な事例は

あるか。

市 例えば、入園を希望する保

護者の方々が、より分かりやす
く情報を得られるよう、書面に
限らず、ホームページ上での情

報提供が推奨されている。これ
により、直接紙を提示する必要
がなくなり、情報のアクセス性
が向上する。

議員 2026年度からスマート

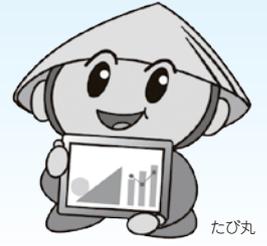
フォンで保育園入園の申請がで
きるようにと国は動き始めてい
る。現時点での市のデジタル化
について聞く。

市 保育園におけるデジタル化

の取組は、施設により導入され
ているシステムが異なるが、申
込用紙の様式の統一化など、デ
ジタル化に向けた準備が進めら
れている。現時点では、スマー
トフォン一台で完結するシステ
ムはまだ実現していないが、国
と連携してデジタル化を推し進
める方針である。



議決結果一覧表



議員別表決結果はHPで見られます。



【3月定例会】

| 議案番号 | 件名 | 付託先 | 結果 |
|-------|---|----------|------|
| 議第4号 | 令和6年度草津市一般会計予算 | 予算 | 原案可決 |
| 議第5号 | 令和6年度草津市国民健康保険事業特別会計予算 | 予算 | 原案可決 |
| 議第6号 | 令和6年度草津市財産区特別会計予算 | 予算 | 原案可決 |
| 議第7号 | 令和6年度草津市学校給食センター特別会計予算 | 予算 | 原案可決 |
| 議第8号 | 令和6年度草津市介護保険事業特別会計予算 | 予算 | 原案可決 |
| 議第9号 | 令和6年度草津市後期高齢者医療特別会計予算 | 予算 | 原案可決 |
| 議第10号 | 令和6年度草津市水道事業会計予算 | 予算 | 原案可決 |
| 議第11号 | 令和6年度草津市下水道事業会計予算 | 予算 | 原案可決 |
| 議第12号 | 地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例案 | 総務 | 原案可決 |
| 議第13号 | 草津市附属機関設置条例の一部を改正する条例案 | 文厚 | 原案可決 |
| 議第14号 | 草津市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例案 | 総務 | 原案可決 |
| 議第15号 | 草津市会計年度任用職員の給与および費用弁償に関する条例および草津市企業職員の給与の種類および基準に関する条例の一部を改正する条例案 | 総務 | 原案可決 |
| 議第16号 | 草津市手数料条例の一部を改正する条例案 | 文厚 産建 | 原案可決 |
| 議第17号 | 草津市医療費特別助成条例の一部を改正する条例案 | 文厚 | 原案可決 |
| 議第18号 | 草津市青少年問題協議会設置条例を廃止する条例案 | 文厚 | 原案可決 |
| 議第19号 | 草津市特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案 | 文厚 | 原案可決 |
| 議第20号 | 草津市営住宅条例の一部を改正する条例案 | 産建 | 原案可決 |
| 議第21号 | 草津市介護保険条例の一部を改正する条例案 | 文厚 | 原案可決 |
| 議第22号 | 草津市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備および運営に関する基準等を定める条例等の一部を改正する条例案 | 文厚 | 原案可決 |
| 議第23号 | 草津市漁港等管理条例の一部を改正する条例案 | 産建 | 原案可決 |
| 議第24号 | 草津市上水道事業給水条例の一部を改正する条例案 | 産建 | 原案可決 |

| 議案番号 | 件名 | 付託先 | 結果 |
|--------|--|-----|---------|
| 議第25号 | 市道路線の変更につき議決を求めることについて | 産建 | 原案可決 |
| 議第26号 | 令和5年度草津市一般会計補正予算（第7号） | 予算 | 原案可決 |
| 議第27号 | 令和5年度草津市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号） | 予算 | 原案可決 |
| 議第28号 | 令和5年度草津市介護保険事業特別会計補正予算（第3号） | 予算 | 原案可決 |
| 議第29号 | 令和5年度草津市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号） | 予算 | 原案可決 |
| 議第30号 | 令和5年度草津市水道事業会計補正予算（第3号） | 予算 | 原案可決 |
| 議第31号 | 令和5年度草津市下水道事業会計補正予算（第2号） | 予算 | 原案可決 |
| 議第32号 | 草津市教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて | 即決 | 同意 |
| 議第33号 | 草津市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて | 即決 | 同意 |
| 議第34号 | 草津市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて | 即決 | 同意 |
| 議第35号 | 木川町財産区管理委員の選任につき同意を求めることについて | 即決 | 同意 |
| 議第36号 | 渋川地区財産区管理委員の選任につき同意を求めることについて | 即決 | 同意 |
| 議第37号 | 南山田町財産区管理委員の選任につき同意を求めることについて | 即決 | 同意 |
| 議第38号 | 川原町財産区管理委員の選任につき同意を求めることについて | 即決 | 同意 |
| 議第39号 | 人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて | 即決 | 別段異議はない |
| 議第40号 | 契約の締結につき議決を求めることについて | 総務 | 原案可決 |
| 会第1号 | 地方自治法第180条議会の委任による専決処分事項の指定についての一部改正について | 即決 | 原案可決 |
| 意見書第1号 | 金権腐敗政治の一掃と真相究明を求める意見書（案） | 即決 | 否決 |
| 意見書第2号 | 物価上昇に見合う老齢基礎年金等の改善を求める意見書（案） | 即決 | 否決 |
| 意見書第3号 | 殺傷武器輸出に道を開く「防衛装備移転3原則」改悪の中止を求める意見書（案） | 即決 | 否決 |
| 意見書第4号 | 県立小児保健医療センターの県立総合病院への統合及び県立小児保健医療センターのあり方などについて十分な議論を求める意見書（案） | 即決 | 否決 |

※付託先…議案の審査を行う所管委員会。なお、付託しない場合は、本会議で即決。

代表質問

3月13日には、市議会の6つの会派から、会派を代表して議員が代表質問を行いました。質問と答弁の内容の一部を要約して紹介します。

草政会

西田 剛



- 橋川市長5期目の政治姿勢、市政方針
- 能登半島地震から見る、本市の危機管理体制



議員

本年草津市は70周年を迎える。現在「選ばれるまち」として人口増が続く本市において、新年度予算として一般、特別会計合わせ過去最大の976億3,400万円計上された。橋川市長の5期目当選にあたり、過去4期の実績を踏まえ、本予算を「未来の草津市」実現に向けて、どのように実践して行くのか。

市 全国の多くの自治体が人口減少局面を迎える中においても、本市が今後においても「選ばれるまち」として、持続的に発展していくための仕掛けづくりを令和6年度予算で行った。

具体的には、子育て支援の充実や中学校給食の無償化、また、草津市立プールや草津川跡地の整備による賑わいの創出など、未来への投資を行う積極型予算を編成したもので、市民ニーズを捉えながら、将来にわたって持続可能な財政運営を継続するため、総合計画に掲げるリーディングプロジェクトや、選挙で掲げた施策に、着実に取り組む。

議員

災害が発生した時、これまでの災害から学んだ教訓が活かされるのか。また危機管理として、市民を含む各学区の自主防災組織が、発災直後に初動体制がしっかり機能し、被災者を1人でも少なくする連携や動きがとれるのか。

市 過去の災害から学んだ教訓として、防火水槽や備蓄倉庫の整備、地区防災計画・個別避難計画の策定など、新たな制度を取り入れ実践するとともに、自主防災組織の育成、防災ハンドブックの配付や講座などにより、自助、共助、公助における防災対策を充実させてきた。

危機管理能力や初動体制の機能性については、市の職員においては平時から発災時の参集訓練、各班の訓練等を行っており、各学区等においては有機的な連携を図る訓練に取り組んでいる。その他にも、防災意識の高揚や防災知識の普及を行うための出前講座や避難行動要支援者登録制度を推進し、一人でも多くの命を救う取組を進めている。

市民派クラブ

土肥 浩資



- 働く者の視点に立った行政のあり方
- 待機児童問題の解消に向けた市長の決意



議員

働き方改革の推進や低賃金労働者への支援強化、職業訓練の充実、労働環境の改善、ワークライフバランスの推進等に取り組むことで「安心して働ける」「仕事と生活の両立ができる」と働く者が感じられる行政を実現できると考えるが、市長の考えを伺う。

市 働く皆様が安心して働けるよう、皆様のお声を聴きながら施策を進めていく行政であるべきと考えている。

そのために、本市としては「草津市勤労者福祉基本方針」に基本理念として掲げている「働く喜びや勤労生活の充実が実感できるまちづくり」を目指す中で、人権啓発のための管理職職員による事業所訪問や、勤労者福祉団体から各種審議会への参画など、様々な場面で働く皆様からご意見を頂戴し、施策への反映に努めているところである。

今後についても、働く者の視点に立って、施策への反映に努めてまいりたいと考えている。

議員

今回のマニフェストには「待機児童ゼロ」どころか「待機児童」という文言すらなかった。子育てをする共働き世帯における男女それぞれのキャリア形成や暮らしそのものに影響を与える待機児童問題を解消してみせるという決意が見えない。市長の決意を聞かせていただきたい。

市 本市において待機児童対策は、重要かつ喫緊の課題であったことから、増加する保育ニーズを踏まえ、受け皿整備や施設定員の拡大、保育士人材の確保策の充実など、どこよりも安心して子どもを産み、子育てできるまちの実現に向けて取り組んできた。

「草津市子育て6つの楽だ」による保育士確保策を「こども未来戦略」に先んじて令和5年度からも実施しているところであり、今後も待機児童対策は最重要課題であると強く認識しており、政策集には掲載していないが、年間を通じて待機児童の解消を目指す決意に変化はない。

公明党

西垣 和美



- 健康で幸福なまちをつくるためのウェルビーイング
- 市として今後備える必要がある防災、減災対策



議員

変動の時代にあって「一人一人の幸せ」にフォーカスし、誰もが健康で幸福だと感じることができるまちづくりを目指すために、ウェルビーイングの観点を持つべきと考える。第6次総合計画第2期基本計画において、立命館大学とも連携し、国でも示されている指標を使って、策定されたい。

市 第6次総合計画第2期基本計画の策定にあたって、ウェルビーイングの概念の導入方法については現在、検討を進めているところである。エビデンスに基づき作成され、自治体間の比較が容易に出来る「デジタル田園都市における地域幸福度（Well-Being）指標」を活用し、あらゆる部局で市民の幸福感向上に繋げることを意識しながら施策を実施できるよう検討しているところである。市民意識調査のアンケートもウェルビーイングの指標を活用することを見据え、実施する予定である。

議員

自然災害は避けられないものであるが、被害を最小限にとどめる減災対策や平時の備えが求められる。これまでの災害の教訓から、何より避難所におけるトイレの確保が必要である。そして、災害時の情報共有に役立つAIの導入や耐震化や土砂災害時への助成支援の拡充、避難所での女性の安心のための備えについて伺う。

市 トイレの確保については、想定で最大で328基が必要となり、現在、防災倉庫に備蓄している仮設トイレや小中学校のマンホールトイレ合わせて318基整備している。引き続きトイレの確保を進めていく。

情報共有のための防災チャットボットの導入については、有用性や費用対効果等を含め調査していく。

耐震化の費用助成や特に耐震ベッドの費用助成拡大については、申請状況を勘案し、拡充することを研究して行きたい。避難所運営の女性の安心のために、平時から女性リーダーの育成などに取り組んでいきたい。

日本共産党草津市議員団

藤井三恵子



- 防災（地震・豪雨災害）に強いまちづくり
- 市内全域の公共交通の確保とコミュニティバスの充実を



議員

能登半島地震災害で多くの被害があり、復興の遅れの現状から、震度7以上の地震災害に備えた対策と避難計画の見直しが必要ではないか。また、福井の老朽原発の被害も含め、廃炉に向けた取組を県とともに要請する必要があると考えるが、市の見解を問う。

市 草津市は、福井県に所在する原子力発電所から最短58kmと、国や県の示す「原子力災害対策重点区域」のUPZ圏内の30kmに含まれていない。また、広域避難計画についても県外避難の想定がないため防災計画の見直しはしていない。老朽原発の廃炉や地域防災対策の原子力発電対応については、国による判断であるため、今後も国や県の動きと司法の判断を注視していきたい。

議員

コロナ感染の拡大以降、公共交通のあり方が大きく問われ、全国的に公共交通の路線数が半減している。2024年問題で運転手不足のため労働改善が求められ、草津市でも今後の交通政策が問われている。高齢化社会の地域交通政策のあり方として、より利用しやすい公共交通にするための改善が交通政策基本計画に求められている。現在の課題認識と今後の対策について問う。

市 「草津市地域公共交通計画」では、これまでの公共交通機関だけではなく地域支え合い運送や福祉有償運送、病院や企業の送迎バスなどの地域輸送資源を総動員し、継続的運行ができるよう取り組む。また、日常生活を支える施設と生活拠点を結ぶ民間路線やまめバス、まめタクなどの役割分担を明確にし、市民の交通・移動の権利を保障し、誰もがいつでも安心して移動できる持続可能で健幸な交通まちづくりの実現に向け計画を進めていきたい。

みらいの風 八木 良人



- 子どもの権利・こども基本法と「こども計画」
- 子どもの権利を最大限に考えた教育のあり方



議員 こども計画は一部の担当課が作成を担っているようだが、子どもの権利・こども基本法・こども大綱をふまえて全庁一丸となって作成するものであり、過去から引きずる行政手法で作るものではない。こども計画策定における市長の考えと教育長の考えを問う。

市 こども大綱を勘案しながら、(仮称)草津市こども計画の策定を進めており、教育委員会をはじめ全庁的にこども大綱に示された「こどもまんなか社会」の認識を深め、わかりやすい計画を定めていく。

こども計画策定に関する教育委員会の考えは、こども大綱に示されている子どもが安心して過ごし、学ぶことのできる教育、いじめ防止、不登校のこどもへの支援など非常に重要と考える。このことからこども計画策定に当たっては、子ども未来部や健康福祉部など関係部局と積極的に連携を図り取り組むたい。

議員 過去の質問において、「子どもの権利」に対する教職員の理解度が低いことがわかった。その後、教職員への研修をされ理解度は上がっているのか。また、子どもたちが子どもの権利を学ぶことは極めて重要である。子どもたちが子どもの権利を学ぶ機会は充分確保されているか。

市 こどもの権利条約・こども基本法・こども大綱についての教職員の理解度は、現時点では研修機会も少なく、十分でないと感じている。今後の計画として、まずは管理職への研修、その後各学校において職員を対象とした研修を実施し、実施効果の検証も行いながら教員の理解度の向上を図っていく。子どもの権利を学ぶ機会の確保については、道徳科・社会科の時間を活用した学習や子どもサミットなどで取り組み、一定の成果が見られる。今後は、子どもの権利を学ぶ機会を特別活動における最優先事項と位置づけ、「こどもまんなか」の学校づくりに取り組んでいく。

草津維新の会 田中 詩織



- 安心して子どもを産み、子育てできるまちの実現
- 令和6年度当初予算と行財政マネジメント



議員 安心して子どもを産み子育てできるまちの実現において、保育や子どもの居場所の確保が重要であると考え。当事者や子どもの視点に立ち、保育の質は担保したうえで、関係部局・関係機関との横断的な連携と先を見通した環境整備を願うが、考えを伺う。また、ひとり親家庭が養育費を受け取るための仕組みづくりについて考えを伺う。

市 子育て世帯の就業率上昇を背景に保育需要は増加傾向であり、先を見通した環境整備については人口推移・子育て世帯のニーズ把握に努め対策を検討する。子どもの居場所に関しても、子どもや子育て当事者の声を聴き多様なニーズを把握し、関係部局が連携・協力を行い、必要となる子育て支援施策を見極めていく。ひとり親世帯の養育費の確保は、子どもの権利を実現するために重要なものであると認識しており、他自治体の先進事例の課題や効果を調査し効果的な支援策を研究する。

議員 令和6年度の予算規模は過去最大である。未来への投資は必要だが、国際社会は不確実性が高まり、確実に訪れる人口減少と超少子高齢化社会に向かっている現状では、長期的な視点を持ち持続可能な予算運営を行うことが重要であると考え、今後どのような見通しを持ち実行するのか伺う。また、事業の整理合理化の重要性と実施に対する考えを伺う。

市 本市は人口増加を続けている数少ない自治体の一つであるが、確実に訪れる人口減少・超高齢社会を見据え長期的な視点を持ち、将来にわたり持続可能な財政運営を実現させることは使命であると認識している。事業の整理合理化についても進めていくことが重要であると認識しており、持続可能な未来への投資を進めつつ、長期的な視点での財政負担の抑制と、職員の負担軽減を図りながら不断の行政改革に取り組むことで健全な財政運営を堅持していく。

3月14日、15日には、15人の議員が、議案に対する「質疑」や市政に関する方針や考え方などについて質す「一般質問」を行いました。
質問と答弁の内容を一部要約して紹介します。

※会派は3月末時点のものです。

杉江 昇 市民派クラブ



地域に住まいする若者の評価

議員 町内会等に入らない若者に対し批判的な人がいます。しかし災害発生時の活動には頼りになる。

市 共働き世帯の増加や子育てなどで日々の生活の活動時間に余裕がなく、ボランティア活動が積極的に行えない状況がある。今後のコミュニティの活性化に向けて、若い世代の参画が不可欠。特に災害発生時には、近隣同士の助け合いが重要で、支える側になる可能性が高い。

災害発生後の地域人ボランティア

議員 地域に住む若者がスムーズにボランティア活動をするためのマニュアルやチェックシートが必要である。

市 発災時の自助共助の大きな動きを防災マップや防災ハンドブック等でマニュアル化しているものと認識している。また、それを全戸配布している。災害発生時には、臨機応変な対応が必要であり、若者の自発的なボランティア活動には期待しているところが多い。

その他の質問

- ・能登半島地震では、トイレに排出した物を流せなかったという。
- ・雨水タンク設置が必要ではないか。

瀬川 裕海 草政会



令和6年度予算

議員 議第4号令和6年度草津市一般会計予算において新たな次代（みらい）を切り拓く予算の特長は何か。

市 令和6年度予算は、未来に向かっての投資を念頭に置いた予算で、今後、確実に訪れる人口減少・少子高齢社会の影響を最小限に留めるため、子育て6つの楽だや中学校給食の無償化、小中学校体育館等の空調設備や市立プールの整備など魅力ある投資を行おうとするもので、予算規模は膨らんだものの、近年の税收増を踏まえ、現状に満足することなく積極的な投資を行う。

議員 本年は市制70周年であるが、70周年の予算をどのように組んでいるのか。

市 本市の将来ビジョンである健幸創造都市の実現に特に資する事業や市制施行70周年を広くPRできる事業を柱として位置付け、予算計上している。

また、市制施行70周年に合わせ、市民とともに機運の醸成を図る目的で実施する事業や、他団体との共催で実施する事業を関連事業として予算計上している。

その他の質問

- ・湖南4市（草津・守山・栗東・野洲）の合併の考え方

西村 隆行 公明党



カーブミラー設置基準説明

議員 草津市のホームページにも、市民の皆様にはわかりやすいカーブミラー設置の説明が掲載できないか伺う。

市 カーブミラーの設置についてのホームページへの掲載については、先ほど答弁いたしましたカーブミラーの過信による危険性を説明し、市民の皆さんに分かりやすいように他市の事例も参考にしながら設置基準を掲載していく。

防犯灯設置基準説明

議員 草津市もホームページに市民の皆様にはわかりやすい防犯灯設置の説明を掲載できないか伺う。

市 防犯灯の新設要望は、前述のとおり各学区まちづくり協議会からのみ受け付けており、要望の受付にあたりましては、各まちづくり協議会に申請の手続きや必要書類を送付していることから、ホームページに説明を掲載することは考えていないが、この機会に検討する。

その他の質問

- ・「おくやみ窓口」設置に関して草津市における特筆すべきことがあるか

井上 薫 草政会



指定管理者制度

議員 指定管理者制度について、改めて検証していく時期に来ているのではないかと考えるが市の所見を伺う。

市 これまで様々なご指摘を受けてきたことから、昨年度に一定検証を行い、見直しを進めてきた。今後は、この見直しによる制度の運営成果を検証しつつ、国や先進自治体の動向等注視しながら、より良い市民サービスの向上に努められるよう課題解決に向けて調査研究を進めてまいりたい。

公契約条例制定への考え方

議員 滋賀県が制定した公契約条例を草津市においても制定することについて、その必要性について市の所見を伺う。

市 滋賀県が県条例で示す公契約のあり方が、県内における公契約の基本だと考えており、県条例の理念と本市が毎年度作成している「建設工事等発注方針」における基本的な方向性と合致するので、市独自の公契約条例を制定する必要はないと考えている。

その他の質問

- ・人権啓発について
- ・歴史資料館整備について

藤本 晶 みらいの風



市役所職員の主体的な キャリア形成

議員 市役所内の働き方改革や職員の働きがい向上・主体的なキャリア形成の為には、セルフ・キャリアドックの導入が有益だと考える。導入について市の所見は。

市 セルフ・キャリアドックについては、今後、調査研究してまいりたいと考える。昨年12月に国で新たな策定指針が示され、職員の主体的なキャリア形成への支援が「人を育てる人事管理」に位置付けられました。本市でもこの支援方法について検討する。



▶用語説明【セルフ・キャリアドック】

セルフ・キャリアドックのドックは、人間ドックのそれと同じ意味がある。すなわち定期的に病院や健診センターなどで健康診断を受けるのと同じように、職員がキャリアカウンセリングという人生や仕事に関する定期検診を受けることである。組織がその人材育成ビジョン・方針に基づき、キャリアコンサルティング面談と多様なキャリア研修などを組み合わせて、体系的・定期的に職員の支援を実施し、職員の主体的なキャリア形成を促進・支援する総合的な取り組み、また、そのための組織内の「仕組み」のこと。

田中 香治 草政会



消防団とマンション住民 との関わり

議員 自主防災組織を結成されているマンションの防災組織には補助金が適応されないことに対する現状への考えを問う。

市 マンション管理組合など住民組織に承認された自主防災組織が、学区や既存町内会、市との連携を取って、マンション内や地域での共助に取り組んでいただければ、防災力の向上につながる。町内会未設置・未加入のマンションの自主防災組織への補助金交付も検討が必要と考えている。

避難所への特設公衆電話事前設置

議員 特設公衆電話は災害発生時に早期通信手段となり、停電時でも災害用伝言ダイヤル（171）の利用や家族への連絡を無料で発信が可能である。市の考えを問う。

市 令和6年能登半島地震において被災地で事前設置型の特設公衆電話が使用されたと聞いており、その有用性は本市でも高いものと認識している。来るべき災害に備え、事前設置に取り組むべく、今年度NTT西日本との協議を進める。

その他の質問 ・貯水槽の耐震化と飲料のペットボトル備蓄に対する考え

西川 仁 日本共産党草津市議員団



草津市立プール

議員 これまでの設計変更等でくみ取る教訓は何か。事業者選定で評価された運営事業計画の準備状況や指定管理者事業の運営実績から心配ないか。人員配置等体制を問う。

市 競技を取り巻く環境の変化も目覚ましく、関係団体との連携を密にしていくこと。地域デジタルヘルスケア拠点を目指す取り組みが評価された。健康ステーションの設置やIoTを活用したトレーニングの実施等、健康増進の提案・実施に向けて協議を重ねている。交流プラザとは別で、**SPC**^①が運営するので問題ない。

教員不足の実態や対応

議員 教員の勤務実態や教員不足状況とコマ数や時間外労働の管理等を国へ要求すること。高穂中の通学区区域に特定地域選択制の導入を求める。

市 教職員定数は、小中学校全体で730名だが、常勤講師は小学校1校で1名、中学校1校で1名が配置できていない。時間外労働は、月45時間以上が48.8% 80時間以上が11.6%と多い状況。国は中教審で検討中なので注視する。通学区区域の選択制は、地域コミュニティ、安全性、地域の不公平感等課題も多く、現在のところ導入は考えていない。

その他の質問 ・国民健康保険料の値下げを
・保育所の待機ゼロを

野村 友子 草津維新の会



草津川跡地の空間整備

議員 ①区間3区間4の計画について②ワークショップ開催について③暫定駐車場について④公園としての成熟や認識について

市 ①予備設計から工事完了まで概ね10数年の計画。②有効な方法と認識しており、具体的な実施方法を検討。③大規模な大会を見込み、臨時駐車場としての活用を滋賀県等と調整。暫定駐車場の投資効果が高まるよう取り組む。④ガーデンミュージアムとしての認知度向上を図る。

議員 ⑤市街地への回遊性について⑥遊具設置について⑦無料Wi-Fiについて⑧防災空間としての位置付けについて⑨維持管理費について⑩Park-PFIについて

市 ⑤市街地への波及は重要な課題と認識。⑥遊具設置の要望も多く検討していく。⑦教養室に設置。イベント広場へは利用状況を含め今後検討。⑧近隣住民が最初に逃げ込める避難場所。⑨指定管理者制度の採用で経費削減等、効率的に管理。⑩Park-PFIの導入に向け、持続可能な維持管理への道筋を立てていきたい。

●上記は質問項目の抜粋になりますが、計15項目にわたる質問をしています。QRコードより、質問の録画映像をご覧ください。

先成 俊士 市民派クラブ



小・中学校通学区の弾力的運用

議員 『(仮称)草津子ども計画』策定に際し、多様なニーズに対応する「通学区の弾力的な運用」の検討を伺う。

市 過去「区域外就学」について協議はしているが、本市では「地域コミュニティ」を核とした教育を進めていることから、人口増加の現状では適切ではないと判断している。また、過大規模校の対応についても「特別区域制度」を設ける弾力的な運用は考えていない。

まちづくりセンターの横串機能

議員 より良いまちづくりセンターの運営を目指し、横串機能の役割を担う「専任担当者の設置」について伺う。

市 全庁的に限られた人員であるため、専任担当者の設置は簡単ではない。現担当制の中で横の情報共有を図れるので、部局横断的な対応をしていく。また、訪問による職員の方とのコミュニケーションを図り、今後は「調整」という点に留意しながら、現体制で進めていきたい。

横江 政則 草政会



草津市公共交通の取組

議員 生活拠点や交通拠点と都市機能誘導区域等との移手段の考え方について伺う。

市 医療、福祉、商業施設など都市機能増進施設の立地を誘導する「草津市立地適正化計画」、地域の生活拠点形成を目指す「草津市版地域再生計画」と一体的に進めることが重要と考え、各計画との整合を図り、地域の生活基盤を支える生活拠点と交通拠点を結ぶ、効果的で持続可能な公共交通ネットワークの形成を図る。

まちづくりセンターの整備

議員 地域まちづくりの具現化に対する支援について伺う。

市 地域の特性を生かした取組や課題解決について、地域まちづくりセンターの改築を契機に、地域まちづくりセンターが、地域の魅力向上や課題の解決を行い、地域がよくなっていることを実感できる場所となるよう、関係部署や中間支援組織と連携し、交付金による財政支援をはじめ、地域の実情に応じた各種の支援に努める。

その他の質問 ・地域まちづくりセンターのネーミングライツについて

福田 茂雄 草政会



草津市中心市街地活性化基本計画

議員 中心市街地活性化推進費として、草津駅周辺エリア未来ビジョン策定費の事業目的と効果は。

市 草津駅周辺未来ビジョン推進は、これまで中心市街地活性化を担って頂いた草津商工会議所、草津まちづくり株式会社や民間業者等による中心市街地活性化協議会をより多様な主体で参加できるエリアプラットフォームへ進化させ、市民や事業者等の民主導による中心市街地の活性化に繋げていく。

带状疱疹予防接種費用助成費

議員 带状疱疹ワクチン予防接種費用助成費を対象年齢65歳以上の高齢者とした根拠について。

市 带状疱疹の罹患率と発症率は50歳代から上昇し70歳代では50歳代と比べ1.4倍と跳ね上がりピークを迎える。高齢者の健康保持・増進と経済的負担軽減を図るため、ワクチン接種予防効果持続期間、ワクチン接種費用と生産性損失の費用対効果等を鑑みて65歳以上の高齢者を対象とした。

その他の質問 ・学校医および学校薬剤師報酬単価改定について

服部利比郎 草政会



地域に対するマンホールトイレ設置補助

議員 防災対策のひとつとして、地域の集会所やグラウンド等にマンホールトイレ設置に対する補助金制度を導入できないか。

市 現在は広域避難所である小中学校からマンホールトイレ整備を進めており、地域に対して工事費の補助制度はない。マンホールトイレは設置工事に多額の費用を要することから、地域で整備する効果や公益性などの課題を検証するため、まずは他市町の補助制度を研究していく。

災害時の市への問い合わせ窓口一本化

議員 災害時における多角的な情報発信に加え、市民からの様々な問い合わせに対応するため、窓口を一本化することはできないか。

市 災害直後の混乱期でも市民にとって問い合わせしやすくなることから大変効果的な方法と考える。現在、市ではすでに4回線を準備している。災害発生時に対策本部を立ち上げた後、市民に対し速やかに複数の電話番号を公表し、本部に情報を一元管理できる体制を構築する。

その他の質問 ・トイレトレーラー購入における費用対効果
・地域防災に関する取り組みの実情と課題

伊吹 達郎 シン・プロジェクトK



能登半島地震を踏まえた 防災体制の強化

議員 能登半島地震の教訓と地域まちづくりセンターの避難所開設や運営（特にトイレ確保）について伺う。

市 地域まちづくり協議会は整備する防災行政無線などで市の災害対策本部と情報共有を行い、避難所開設応援で被害が最小となるような対応を期待している。断水が続く避難所におけるトイレの確保が課題でマンホールトイレやトイレトレーラーなどの防災体制の強化を図っていく。

草津川跡地公園整備の将来の姿

議員 草津川跡地公園は、市長も「日本一の公園に」と選挙戦で訴えておられたが、その将来像について伺う。

市 区間6は民間活力による公園整備を国道1号東側エリアで行い、令和10年度供用開始をめざし、残る区間3、4についても途切れなく事業着手していく。人々の交流や多様な文化コミュニティの場となる賑わいを創出し、都市価値を高める空間として市民の皆様のご意見を聞きながら、計画を進めていく。

その他の質問

- 橋川わたる草津市長5期目のマニフェスト「ずっと³草津宣言」について

遠藤 覚 草政会



中学校給食無償化等の事業 内容

議員 4月から無償化と長期喫食しない場合の支援を開始。恒久的な無償化と私立校生徒に対する支援の拡充を求める。

市 無償化を規則の附則に「当面の間、免除」と定め給食費の徴収は行わない。無償化の継続、質が担保できるよう財源確保に努める。中学校給食支援給付事業は、アレルギー等で長期間喫食できず弁当等の場合に支給。今回は、学校設置者として可能な範囲内で実施するもの。

地域貢献活動休暇制度の創設求める

議員 地域活動の担い手不足解消、地域課題解決に向けた施策を進めるため、国が示した市職員の地域貢献活動休暇の創設を求める。

市 地域共生社会の実現には、課題に向き合う地域住民の主体的な行動が必要。地域住民である市職員が地域活動に携わり市民生活に触れることは職員自身の成長につながると考えるので、「地域貢献活動休暇制度」の創設は要検討と考える。

その他の質問

- 太陽光で高温化する公園等の遊具に熱交換塗料への見直しを



高校生との意見交換会 実施予定！

令和6年7月25日(木)

草津市役所市議会本会議場、委員会室等

- 草津東高等学校 ●草津高等学校
- 玉川高等学校 ●湖南農業高等学校
- 光泉カトリック高等学校 ●綾羽高等学校



▲令和5年7月28日に実施した意見交換会の集合写真

小野 元嗣 草政会



南草津への交番増設と警察官増員

議員 県内犯罪認知件数が特に多い南草津に、防犯や事故防止に努めるため交番増設と警察官の増員配置を県へより強く要望することを願うが市の考えは。

市 平成16年以降犯罪率が県内都市部でワースト1が続き交通事故も増加中。市民との防犯活動を行っているが効果的な対策に警察力の向上は急務である。交番増設および警察官の増員を県に要望しているが、引き続き南草津エリアへ交番増設等を含め要望していく。

南田山交差点西側の右折レーン設置要望

議員 交通渋滞対策として国道1号南田山交差点西側東向きACT横の十禅寺川暗渠化で右折レーンと右折信号の設置を願うが市の考えを問う。

市 当該交差点は右折車両が複数台続く場合に交差点部で渋滞が発生するなど課題を認識しており国道、県道の管理者とも課題共有している。現状の渋滞を緩和し、より円滑な交通処理を行う為には右折レーンの設置は必要と考えており、関係機関と設置協議を進めていく。

その他の質問

- 企業立地
- 敬老乗車割引制度等の導入
- 南草津駅のバリアフリー化

議会を傍聴しませんか？

お待ちしております！



6月定例会の開催予定

6/7(金)～6/28(金)



本会議は
ライブ中継や録画映像も
ご覧いただけます。

こちらで
お声掛けください。



▲市役所3階の議会事務局受付へ

| | |
|----------------------|---------------------------|
| 本会議（開会） | 6/7(金) |
| 本会議 （質疑および一般質問） | 6/18(火) 19(水) 20(木) |
| 総務常任委員会 | 6/21(金) |
| 文教厚生常任委員会 | 6/24(月) |
| 産業建設常任委員会 | 6/25(火) |
| 予算常任委員会 | 6/26(水) |
| 本会議 （委員長報告、採決、閉会） | 6/28(金) |

日程は、都合により変更になる場合があります。
日程の変更は、ホームページでお知らせします。
なお、本会議や委員会の傍聴については、予約は不要です。

草津市議会ホームページ

<https://www.city.kusatsu.shiga.jp/shigikai/>



スマートフォン
専用アプリ



マチイロ
(旧i広報誌)



SideBooks(地域本棚)



ご意見・ご質問をお聞かせください。

本号に記載している内容等について、市民の皆様からのご意見・ご質問をお待ちしております。

いただいたご意見をもとに引き続き、より良い議会だよりの作成に努めていきます。

【草津市議会】〒525-8588 草津市草津3丁目13番30号
TEL.077-561-2413 / FAX.077-561-2485
Eメール gikai@city.kusatsu.lg.jp



広報広聴委員会

委員会選出
● 予算 横江 政則
● 産建 井上 薫
● 文厚 小野 元嗣
● 総務 西川 仁

● 草津維新の会 野村 友子
● 藤本 晶
● 草津市会議員団 藤井三恵子

● 公明党 西垣 和美
● 市民派クラブ 先成 俊士
● 輝勢会 福田 茂雄
● 草政会 遠藤 覚
● 市民派クラブ 先成 俊士

会派選出

編集後記

前号ではアンケート調査にご協力ありがとうございました。アンケートの結果、「議会だより」があまり読んでいただけていないことがわかりました。

このため、市民の皆様により親しみやすく、また必要な情報を分かりやすく伝えるために、広報広聴委員会が中心となり、今月号から少しずつリニューアルを進めます。

市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



アンケート
結果はこちら

草津市議会広報広聴委員一同